

## まちの声-VOICE-

(くりやまキャッチボイスより)

### 勤務時間中の職員の喫煙について

□職員の勤務時間中の喫煙に関し、喫煙しない職員との実質的な休憩時間の差が不公平感を生じているように感じています。離席時間の給与面での取り扱いや組織としての認識、および地方公務員の服務規律上の位置づけについてご説明をお願いいたします。併せて、第2期栗山町健康増進計画で喫煙率減少を掲げる中、特別職を含む職員の喫煙は政策との整合性に欠け、町民の模範という観点からも疑問があるため、健康増進法の趣旨に沿った今後の対応方針について、町民への説明責任を果たすべく文書にてご回答いただけますようお願い申し上げます。(50代男性)

■業務に支障のない常識的な範囲の喫煙による離席は勤務時間に含まれ、給与の支払い対象になっています。一方で、勤務時間中の喫煙は職務専念義務(地方公務員法第35条)に基づき、節度ある行動が求められるものと認識しています。町では、非喫煙者との公平性や職場全体の士気維持の観点から以下を「喫煙ルール」とし、執務中の喫煙は勤務時間中の行為であると強く意識するよう周知徹底を図っています。

- ・喫煙中にスマートフォンを使用しない
- ・1日の喫煙回数を減らすこと
- ・1回の喫煙時間を短くすること
- ・同僚に喫煙所に行くことを伝えること

また「第2期栗山町健康増進計画」に基づき、喫煙率の低下と受動喫煙防止を推進しています。特別職を含む全職員が健康増進の模範となるよう、禁煙サポート事業の活用や職場環境の整備を進め、町民皆さんの信頼に応える組織づくりを努めてまいります。

#### 【問い合わせ】

総務課総務グループ ☎ 72-1111

### こどもの給食支援について

□小学校への助成に加え、民間こども園などへの支援も検討願います。(40代男性)

■給食費支援は、子育て世帯の負担軽減の観点から、町では主食費の補助や副食費の免除制度により負担軽減を図っており、現時点でのさらなる支援拡充は予定しておりません。しかし、いただいたご意見は今後の子育て施策の参考とさせていただきます。引き続き子育て世帯への支援充実に努めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。

#### 【問い合わせ】

福祉課福祉・子育てグループ ☎ 73-2222

### 小学校の給食について

□重度アレルギー対応の負担軽減に向けた、今後の町の対策を教えてください。(40代男性)

■安全確保を最優先に、現在は牛乳の提供停止や詳細資料の配付、栄養教諭による毎月の個別相談を実施しています。給食センターの構造上、専用調理室の確保は困難ですが、学校と連携し可能な限りの対応を検討します。今後の詳細については面談にて、お子さまにとって最も安全な方法を共に考えてまいります。

#### 【問い合わせ】

学校教育課学校教育グループ ☎ 72-1117

### 町営バスの担当者に感謝

□先日、誤って違う路線に乗車してしまったのですが、運転手さんが親切に対応くださり、そのことがきっかけで、町外に住む旧友と、町営バスを利用して桜を観る小旅行を楽しむことができました。とても丁寧に対応いただいた建設課の職員さんと、運転手さんに心より感謝いたします。(80代女性)

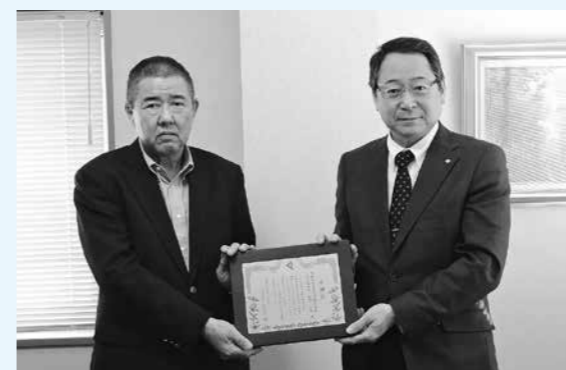
#### 【問い合わせ】

建設課土木・管理グループ ☎ 73-7513

## ご厚志に感謝

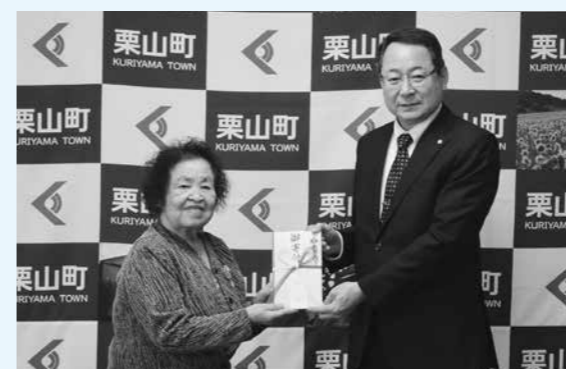
### 創立45周年の感謝をこめて

町内の丸勝給水設備工業株式会社(花澤正則代表取締役)より、200万円の寄附を受け、4月24日、佐々木学町長が感謝状を贈呈しました。花澤代表取締役は「当社は、地域の皆さんのお陰で、創立45周年を迎えることができました。まちづくりや、栗山高校女子野球部の支援に役立ててください」と話しました。



### 元気なうちに恩返しを

町内在住で栗山町赤十字奉仕団員の星野弘美さんが5月7日、日本赤十字社栗山町分区分(佐々木学分区分長)を通じて、日本赤十字社に100万円を寄附しました。星野さんは「赤十字奉仕団としての使命感をもって、これまで活動を続けることができました。日本赤十字社の活動に役立ててもらいたいです」と話しました。



### 栗山高校女子野球部支援に

多年にわたり町に寄附されている、由仁町の石川兄弟塗装株式会社(石川裕次郎代表取締役)へ、4月24日、佐々木学町長が感謝状を贈呈しました。石川代表取締役は「栗山高校女子野球部の活動に役立ててください」と話し、佐々木町長は「多年にわたるご寄附に、心より感謝します」と述べました。



### 子どもたちのために

町内の井沢建設株式会社(喜多村大吾代表取締役)より、300万円の寄附を受け、4月24日、佐々木学町長が感謝状を贈呈しました。喜多村代表取締役は「子どもたちのために役立ててください」と話しました。佐々木町長は「子どもたちの教育環境向上のために、活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

